

2020年度 HELCY研修会 コロナに負けない家庭科教育を考える



第3回 「いま」だからこそ見いだせた家庭科の学びの可能性
日時 2020年7月26日(日) 10:00~12:00
ZOOMによるオンライン開催

HELCEY(ヘルシー)は、神奈川県横浜市に拠点をおく家庭科教員のための学び合いのコミュニティです。学校の休校が明けて授業が始まり、2カ月になろうとしています。学校現場では、先生方は「新しい学校の生活様式」のもとで、様々な配慮をしながら家庭科の学びを止めないように、日々の実践に力を注いでこられたことと思います。従来はできていた活動が制約され、想定されていた計画通りに授業が進まないもどかしさを感じておられることと思います。しかしその一方で、ICTの活用をはじめとする新しい教育方法を取り入れ、新たな授業の可能性や手ごたえを感じた、ということはありませんでしたか？

オンライン開催になって3回目のHELCEYは、あえて、超ポジティブに、コロナ禍の現場をとらえ直してみたいと思います。必要なことができない・モノや教具が足りない・時間が足りない等々、たくさんの欠落状況の中に現場があることは、百も承知のうえで、「いま」の現状をプラスにとらえ直してみることはできないでしょうか。例えば、顔を寄せ合って向き合いながらの「対話」ができないなら、間接的にどうやって意思を伝えあえるのか、そのための方法論とツールを考えたいと思います。よりロジカルに学びを表現することを見出すような授業を、どうやって行えるのか。また、実習を行えないのなら、学校で学んだことを家庭で実践する、というサイクルを逆転させ、家庭でやってみることで見出された課題や気づきを授業に「持ち寄り」るところから始めてみる。すると、疑問点が共有され、本質的な問いが浮かび上がる。…そんな、反転授業的な取り組みを、日常の家庭科の実践の中に浸透させていく、またない機会だと考えています。家庭科の学習観・指導観のパラダイム転換が、いま必要なのではないでしょうか。

家庭科の学びは、子どもたちが家庭生活と教室を往還する中で深まっています。家庭と学校をつなぐ軸の中に、家庭科のコンテンツをどのように、どうやって交わらせていくのか。さらに、家庭科の学びの場を学校から地域に拡張できないだろうか。こういった学習指導の在り方について考え合う場として、第3回セミナーを位置付けたいと思っています。ふるってご参加ください。

参加申込は、Google フォームからどうぞ

 <https://forms.gle/Xy3jZqq2hoZmw9CZ7>

問い合わせ先 helcyfrom2019@gmail.com

◆ SCHEDULE ◆

10:00~10:30 メンバー近況報告と堀内からの話題提供

10:30~10:45 グループ・ディスカッション

10:45~11:40 ディスカッション報告と共有

11:40~12:00 まとめと次回に向けた連絡など

HELCEY Manager

横浜国立大学 教授 堀内かおる



多くの学校で、休校期間が終了し、6月から子どもたちの登校が始まりました。それから約1カ月が経過した今回のHELCEYでは、再開した学校の状況について情報交換をするとともに、今困っていることや課題となっていることを共有し、どのように対応したらよいのか、考えます。



HELCEY のロゴマークは

ガーベラの花

ガーベラの花言葉：「希望、常に前進」を掲げながら、家庭科教育の未来に向けて 歩み続けます